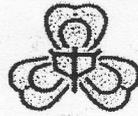


# 友よ!



## 東京・石中会だより

第4号

平成20年8月

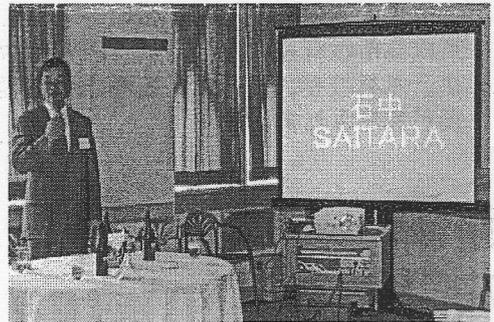
発行 東京・石中会広報委員会事務局/〒253-0072 茅ヶ崎市今宿360-3-2-302 Tel.&Fax./0467-85-7631

### 若手こぞって盛況、第6回総会！ 母校の生徒の姿に感銘、昔の思い出に花を咲かせての歓談

第6回東京・石中総会が、10月14日（日）有楽町・ニュートーキョーで開催され、男性22名、女性22名、計44名が出席されました。秋月会長の開会挨拶に続き、石巻から駆けつけて頂いた石中の木村校長から、生徒達の活動状況が持参されたビデオで紹介され、列席の皆さんは母校のはつらつとした生徒達に感銘を受け、エールの拍手をされていました。

校長先生出席の事前の情報もあってか、今回は特に若い人の出席が多く、先輩、後輩は互いに同窓のよしみを存分に楽しんだ一時となりました。  
(鈴木健司・記)

①



②



③



④



⑤



- ①生徒達の活躍を紹介している木村校長 ②木村校長のお話を熱心に聞き入っています  
③記念写真の後は楽しい懇談です ④ハイ！ピンゴ おめでとう！  
⑤校歌を歌って郷愁に浸っています

写真撮影・青沼義信（3回生）

# 新校長のご挨拶

心に響く声がけの実施を通して

## 校長 新妻 牧雄

毎週金曜日はコンビニ袋を携え、途中のゴミを拾いながら登校します。先日は、小学一年生が道に迷っていたので登校途中でしたが小学校まで送り届けた生徒もいました。明るく礼儀正しい、地域を元気にする生徒たちです。



本年度は徹底した生徒理解を基盤にした教育活動の展開を目指し、教職員は一日一回は学級の生徒一人一人に声をかける事を実施しています。声がけは、生徒のやる気を引き出す原動力ともなり得ます。気軽な声の掛け合いが心に響く会話に発展させ、昨年度も標榜した前向きな意欲に満ちた学校、『夢のある楽しい学校』の質の充実に努めてまいります。

## 石中・木村民男校長が勇退

今年の3月で木村校長が定年でご勇退されました。木村先生は、昨年の東京石中会の総会にわざわざ石巻から出席して頂き、本会とは大変友好的にお付き合いをさせて頂きました。4月からは東松島市教育長に就任され、教育行政全般でご活躍されています。木村校長の後任に、石巻市教育委員会課長から新妻牧雄校長が着任されました。



# 俳優・半海一晃さんに生徒大フィーバー！

(石中60周年講演会)

「東京石中会」から母校石中に講師を派遣して「課外授業」を行うのも3回目となる。演台のスタンドマイクで講演するのを嫌って、司会者のハンドマイクを借りて、舞台上に腰掛けて語り出した。淡々と気負いのない語りかけは、生徒の心をどんどん引きずり込んでいった。俳優になるきっかけの下りでは、特に俳優になることを夢として強い願望があった訳ではなく、石中時代の友人T君となんとなく共演した文化祭の出し物で、「思いもよらぬ拍手喝采で気をよくしたことが始まりかな」とさりげなく回想した。石高時代は、演劇部のT君に誘われて演劇部に入り、女子高との合同演劇祭などを通して、だんだんと芝居が面白くなってきた。日大芸術学部演劇学科に入ったのも、演劇で身を立てようというよりは、演劇がダメになったときに、大卒が生活の役に立つと考えたからで、動機は不純だったと、述懐していた。卒業後、大きな劇団に所属して活動していたが、その後、自分で劇団を主宰して活動している最中に腎臓病で危篤状態に陥る。医者から体力を使う演劇活動を続けるのは無理と言われ、入院中にこれで最

後のつもりで書いた芝居が受賞することになり、プロダクションから引き合いの声がかかりだし歯車が好転して現在に至っている。自分の過去を振り返って言えることは、輝かしい星の下に大志を抱いても叶うことは少ない。今やっていることが将来役に立たないかもしれないが、「自分が好きで楽しいことを一生懸命やることの方が大切だと思う」と60分の熱い思いを語り結ぶ。講演後の質問の時間では、握手を求めた生徒が半海さんに近づくと、堰を切ったように沢山の生徒が壇上に登り思わぬハプニングが起きてしまう一幕もあった。生徒会からのお礼の言葉と花束贈呈が終わり、満場の拍手で退場の途中で贈られた花束を初老のご婦人に渡していた。遠くで見送っていた私は、はじめはどうしたことかと理解に苦しんだが、後でその御婦人は半海さんの母親であることを知る。実は彼は当日のスケジュールをやり繰りして来てくれたようで、午後1時からの講演時間に間に合うように東京駅を出発し、夜には仕事が入っているのでトンボ帰りの強行スケジュールで応じてくれたのである。

(飯田勝紀 記)

石巻の活性化、商店街の活性化のため頑張っています。

**サルコヤ**  
電話0225(96)3658  
お化粧のことなら(仲町交番向かい)

メイクハウス **いのまた**

電話0225(22)1101

日本舞踊稽古所にどうぞ(山下町)  
藤間流師範

**藤間京緑**

(旧姓・猪股美智子)  
電話0225(96)7080

創業八十五年漢方薬

**境薬舗**

(店主 境政幸)

電話0225(22)2280  
海の活をそのままに

**白謙蒲鉾店**

電話0225(22)1842

総合食品

**大文字屋**

電話0225(22)1244

群鴨同窓会(石中同窓会)

会長 **浅野亨**

(富城ヤンマー株式会社社長)

電話0225(93)2121

## 年会費の納入ありがとうございました。

平成19年度の年会費は、175名の方々から振込みがありました。皆様のお陰をもちまして、母校・石巻中学校への支援として実施されている講演会等の活動に役立たせていただいております。紙面を借りまして、納入いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

- (第3回生) 青沼義信、秋保光子、秋月英美、阿部 剛、猪狩和子、大木郁子、加藤英子、河野不二子、後藤久男、坂本武久、佐々木襄、武山 勝、立岡寿美子、水澤 昇、森山慈之、結城常明
- (第4回生) 菊池桂子、今野和夫、平山 稔、加藤利光、大澤寿子、阿部剛夫、森田亨子、菅井みな子、大西葉子、河崎昌子、大熊正子
- (第5回生) 遠藤明夫、猪俣昌子、上原藤三、井上勝夫、佐藤玲子、早川幸子、鈴木恵美子、石井弘志、北村忠二郎、佐藤仁子、高村多恵子、阿部道子、岩井和子、島子妙子、千坂 健、渡邊寛治、松本悦子、小松悦子、三澤和子
- (第6回生) 鈴木季子、久道勝信、相澤昌男、細川金子、中村繁子、藤澤 俊、長崎紀久子
- (第7回生) 金澤 功、北川喜恵子、田上富美子、芳賀鐵夫、橋本洋二、廣瀬知子
- (第8回生) 阿部徳雄、梅沢治子、関 春美、高橋静子、元安茂子、橋本照蒿、畠山 尚、秋山英子、首藤光春、鈴木建司、樽見和子、御牧道子、松田勝治、市川洋子、金森喜美子、今野ひさ子2口、高嶋展広、菅野邦子、山手てい子
- (第9回生) 鈴木辰巳、高橋紀子、後藤忠正、小泉勝子、青山さわ、加藤照子、滝川 勇、田籠美子、鈴木和子、滝川喜久子、早田 光、菊地 正、喜友名典子、伊東幸子、粹田洋子
- (第10回生) 菅ノ又桂子、加藤幸子、奥村かつ子、松江千恵子、川野澄子、矢沢節子、角田守弘、齋藤宣子、杉山富子、高泉政勝、緒方正子、勝又 勝、田代勝彦、今井和代
- (第11回生) 渡邊みよ、高橋和子、菊地保夫、雫石登志子、高井篤三、我妻優子、後藤永子、栗原光男、間部和子、池永貴美子
- (第12回生) 大江ヨリ子、南里憲三、奈良坂仁、今井あい子、夏目都喜子、堤 和子、金澤由希子、岡崎好子、蟹澤詔子、佐藤正克、金澤 洋、岡崎国男、奥田捷治、榊 経子、小林美智子、村上秀一、西條 修、吉田義男、門馬糸子、西條純一、安田淳子
- (第13回生) 佐々木次臣、小堀敦子、佐々木文江、赤塚誠哉、星 貞子、竹内政子、勝島節子、村田悦亮、植草良子、米田政明、岡田ちづ子
- (第14回生) 小川孝三朗、武山和子、梅沢歌子
- (第15回生) 今井恵子、星 憲夫、太田とし子、星澤 晋、山形昌子、畠山清光
- (第16回生) 金澤 哲、盛岡芳郎、岡 康博、青山憲介、菌田美智子、石井俊子、渡辺啓子、吉田義弘、佐藤政彦
- (第20回生) 唐沢泰子、渡辺佳子
- (第26回生) 鈴木雅芳、水澤 茂
- (第32回生) 佐々木 明、菅原洋樹、井上俊次
- (第34回生) 星野知倫

(以上 敬称略、名簿順)

※ 会費を納入された方で、お名前の記載の無い方は事務局までお知らせくださいますよう。

### お振込みに際してのお願い

窓口を通してお振込みをされますと、手数料が120円徴収されます。振り込み用の機械(CD)で振り込まれますと、手数料は100円となります。出来るだけ、振込み用の機械(CD)でお振込みされますよう、お願いいたします。

### へお帰りの際は、ぜひお立ち寄りください。

電話 0225(22)1660	<b>そば処 もりや</b>	電話0225(22)0934 老舗の美味しいおそば宴会合	<b>岡田劇場</b>	電話0225(22)0474 創業大正十三年 市民の誇る劇場	<b>箕田歯科医院</b>	電話0225(22)2128 歯の治療・入れ歯なら	<b>栗野蒲鉾店</b>	電話0225(96)4436 水産庁長官賞に輝く名品	<b>飯田理容室</b>	電話0225(96)5150 創業百年を迎えました	<b>浜長</b>	電話0225(22)1030 四季折々の磯の香りをどうぞ	<b>井上海産物店</b>	海産物のお土産なら
--------------------	--------------------	---------------------------------	-------------	-----------------------------------	---------------	------------------------------	--------------	-------------------------------	--------------	------------------------------	-----------	---------------------------------	---------------	-----------

# INFORMATION

## 会員皆様へのお願い!

### 総会開催時期の変更に伴う今年度総会の中止及び新会長選任について

東京石中会の総会は会則により「毎年1回開催し、予算の承認、会則の改廃、その他重要な事項を決定する」と決めています。ところが、現在総会は秋季(9~11月)に開催しています。そのため、当該年度の活動計画や予算案等は年度の半分を経た時点の総会で、皆さんの承認を頂いている変則的なものになっています。この件は以前から総会の時期を春期にするか、会計年度を変えるべきか検討してきました。一度は総会を9月に開催し翌年は5、6月に開催すべく計画して見ましたが、どうしても準備が間に合わず春季開催に踏み込めませんでした。

しかし、変則的な総会開催時期は改める必要があると思います。つきましては、役員会において平成20年度の総会を取り止めとし、平成21年度から6月第1週の日曜日に開催することに踏み切りました。(平成21年は6月7日)

また、今回はタイミング的に会長改選の時期でもありますので、3月末日までに新会長の決定、及び役員の人選を行い4月1日から新体制でスタートすることにしました。会長の選任には役員会内に「会長指名委員会」を設置し、委員会から会長候補を指名し役員会で検討協議後、総会の承認を得て決定する運びとなっています。その他の各担当役員及び各回生の代表役員及び(幹事役)も同様にして決定します。

つきましては委員会からのお願いですが次期会長への候補者として、自薦、他薦で結構ですので適任者をご推薦下さるようお願い致します。推薦時期は10月末日とさせていただきます。候補者の方々とお話をさせて頂き委員会で検討し、最終的には役員会にご一任頂ければ幸いです。

東京石中会も基礎作りが何とか出来、これから第2ステップに入るわけですが、どうしても同窓会に積極的に協力して頂ける各回生の役員(複数でも構いません)が欲しいのです。どうぞ皆様協力して頂ける方、また、何々さんはその適任者では、という情報でも結構ですから推薦のほど合わせてお願い致します。以上の件について、窓口は東京石中会同窓会事務局にしていますので、ご一報下さるようお願い致します。(副会長・阿部 剛 記)

### 東京・石中会 ホームページ開設

新春より東京石中会のホームページの開設準備中です。東京の石中会会員の動向や活動報告のみならず、母校や石巻に関連するニュースなどを広く取り上げる計画です。

広報委員会委員は、ホームページ作成には素人ですが、ホームページの重要性を殊の外認識しています。魅力的なホームページになるためには、皆さんからの後押し、協力が一番と考えています。ご協力をお願いします。西條修(12回生)



### 東京・石中会への寄付

東京石中会も今年で7年目に入ります。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。東京石中会の活動の灯を絶やさないためにも、以下の回生の方々から多大なご寄付をいただきました。紙面をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

〈第3回生・秋月英美、阿部 剛、青沼義信、武山 勝〉〈第4回生・阿部 剛夫〉〈第5回生・上原藤三、井上勝夫〉  
 〈第6回生・鈴木季子〉〈第9回生・飯田勝紀、伊東幸子、喜友名典子〉〈第13回生・大山義夫〉  
 〈(ご祝儀) 石巻中学校校長・木村民男〉 (以上敬称略)

東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記・事務局長宛お送りくださいますようお願いいたします。飯田 勝紀 〒253-0072 茅ヶ崎市今宿360-3-2-302

## 第七号 東京・石中会は2009年(来夏)6月です。

【同期会お知らせ他、通信欄】  
 「9回生同期会(七夕の会)」今年も熱海でしたが、来年の7月7日は那須高原の予定です。会員の皆さん、より盛会になるよう声をかけあつてご参加下さい。

### 〇投稿、大歓迎!

石巻での思い出、中学校時代のことや最近石巻を訪れて感じたことなど、何でも結構です。皆様からの投稿をお待ちしております。投稿には、お名前、ご住所、回生、電話番号を明記の上、2005400字くらいにまとめて左記事務局まで郵便でお送りください。

宛先: 東京・石中会 事務局

飯田 勝紀 〒25310072

茅ヶ崎市今宿 360-3-2-302

### 事務局だより

「東京石中会」が設立されて、6年目を迎えることになりました。会の主たる事業は①毎年行われる「総会」②発行「友よ!東京・石中会だより」の発行③母校への「課外授業講師派遣」で、年を重ねることに充実してきました。更に来年から東京石中会ホームページの開設を目指して準備中です。事務局が掌握している現在の会員数は六百八十名で、すべての方に総会案内と会報を郵送しております。会の運営は、このとき同封する振込用紙による皆様方の年会費(千円)によって賄われておりますが、年会費納入者は百六十八名で、とても間に合いません。不足分は会報に記載されている通り、有志の方々の寄付金と会報の広告料で補っております。事務局からのお知らせですが、会の維持発展のために年会費の納入に一人でも多くのご協力をお願いします。

事務局長 飯田勝紀

編集・広報委員会スタッフ

委員長 井上勝夫  
 委員 首藤光春  
 委員 鈴木建司